

⑤ 観光状況、資源など

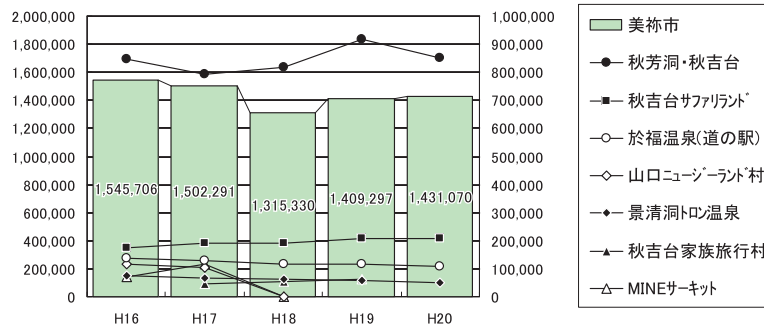
減少傾向にあった観光客数が増加に転じている。

本市には、秋吉台・秋芳洞や秋吉台サファリランドなどの多くの観光資源があります。

観光客数は、平成 17～18 年の主要観光地の相次ぐ閉鎖で一時落ち込みましたが、大規模キャンペーンの実施などにより増加傾向にあり、平成 20 年で 1,431,070 人となっています。

また、平成 23 年には山口国体が開催され、更なる観光客数の増加が見込まれます。

■美祢市の観光客数（山口県観光動態調査）



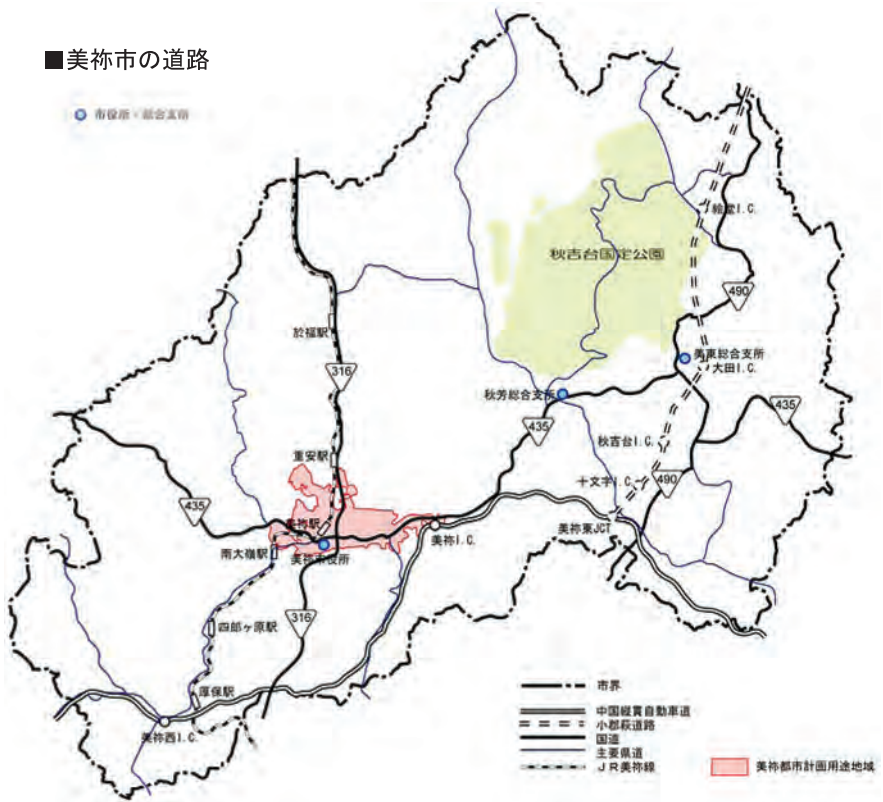
⑥ 交通体系などの都市基盤

東西に国道 435 号が通っているが、北部などでは東西方向の道路網が不足している。複数の高速道路 I.C. の立地や、小郡萩道路の整備など、広域交通の利便性が高い。

美祢市の道路網は、東西に国道 435 号が、南北には国道 316 号と国道 490 号が通っており、主要な幹線道路となっています。市の南部には中国縦貫自動車道が整備されており、2 つのインターチェンジがあります。また、平成 23 年 10 月には、地域高規格道路小郡萩道路が供用開始の予定です。更に、JR 美祢線が本市を南北に縦断しています。

美祢駅周辺は用途地域の指定がされており、商業施設、都市施設などが集積し市街地が形成されています。市北部には、秋芳洞などがある秋吉台国定公園を中心に、観光施設、公園施設が分布しています。

■美祢市の道路



⑦ 医療の現状

市民千人あたりの病床数は平均的だが、医師資格者の数は少ない。

市民1千人あたりの病床数は18.33床となっており、山口県人口10万人未満都市と比較しても、平均的な医療施設を有していますが、市民1千人あたりの医師資格者数は少ない状況にあります。

■医療に関する山口県人口10万人未満都市との比較（山口県統計年鑑平成20年刊）

自治体名	医師資格者1人あたりの病床数(床)	市民1千人あたりの病床数(床)	市民1千人あたりの医師資格者数(人)
美祢市	12.72	18.33	1.44
萩市	10.98	18.37	1.67
下松市	5.29	7.42	1.40
光市	9.60	15.30	1.59
長門市	13.35	23.05	1.73
柳井市	10.18	28.89	2.84
山陽小野田市	7.17	16.78	2.34

※医師資格者数は平成18年(山口県統計年鑑平成20年刊)、人口は平成17年(国勢調査)の値により算出

⑧ 福祉の現状

市民千人あたりの各種老人ホームの定員数、保育園の定員数は比較的多い。

市民1千人あたりの養護老人ホームの定員数は1.68人、特別養護老人ホームは9.65人、軽費老人ホームは2.01人と、山口県人口10万人未満都市と比較し、定員数が最も多い状況にあります。

また、市民1千人あたりの保育所の定員数は22.12人で、山口県人口10万人未満都市と比較し、萩市に次いで2番目に定員数が多い状況にあります。

■主な高齢者福祉施設に関する山口県人口10万人未満都市との比較

市民1千人あたりの定員数	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム
美祢市	1.68	9.65	2.01
萩市	0.86	7.42	—
下松市	—	2.67	—
長門市	1.22	7.54	—
柳井市	1.39	5.85	1.39
山陽小野田市	1.51	3.71	1.06

※施設数は山口県保健福祉施設等名簿(平成20年5月1日現在)より算出

■主な児童福祉施設(保育所)に関する山口県人口10万人未満都市との比較

市民1千人あたりの定員数	保育所
美祢市	22.12
萩市	25.18
下松市	12.33
長門市	20.42
柳井市	21.29
山陽小野田市	21.28

※施設数は山口県保健福祉施設等名簿(平成20年5月1日現在)より算出

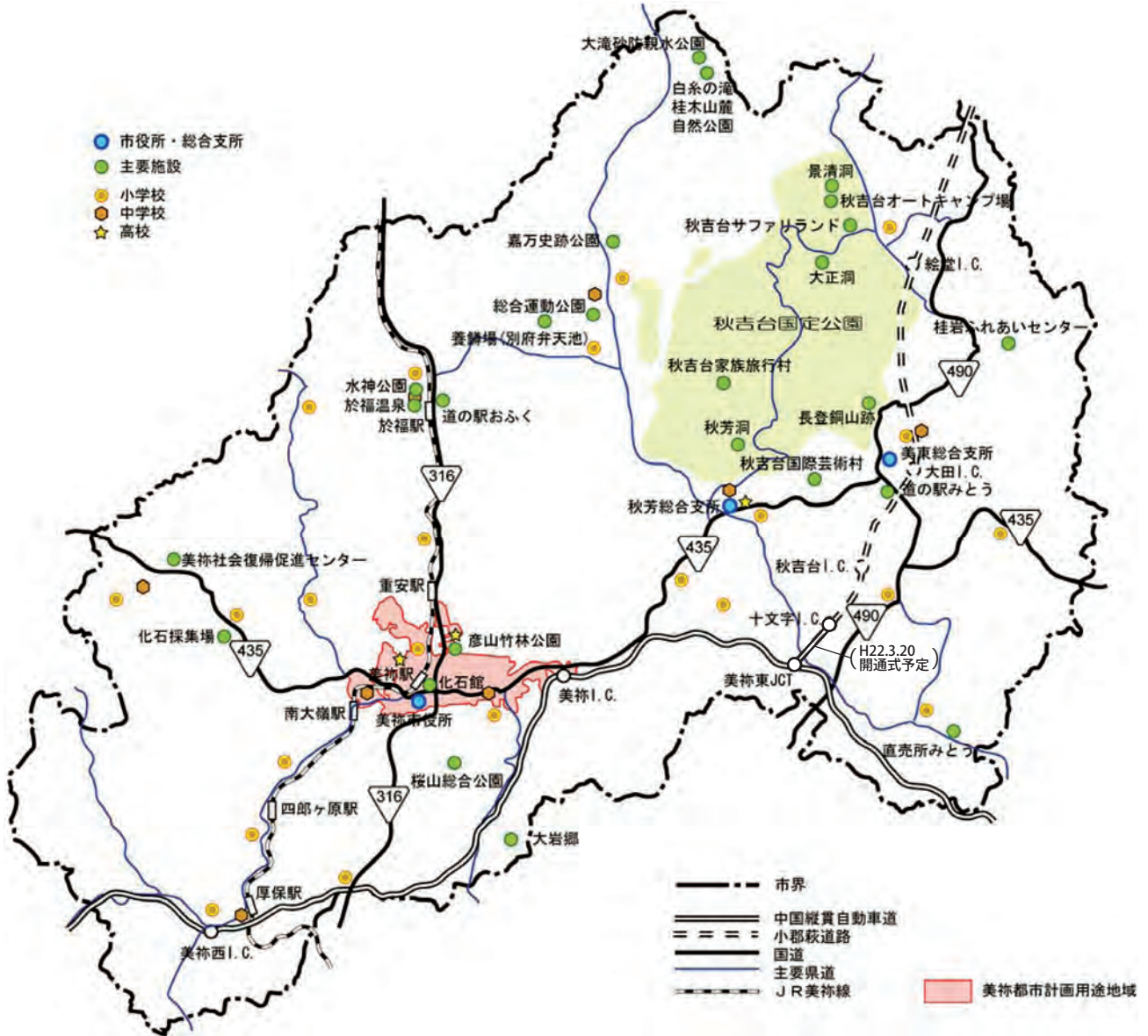
(2) 美祢市の地域資源

秋吉台国定公園をはじめ、日本有数の観光資源が点在する。

美祢市の東部には秋吉台国定公園が位置し、秋芳洞、大正洞、景清洞など鍾乳洞や銅山跡など、数多くの観光資源が立地しています。

市中央部から西部においても、弁天池や於福温泉、厚狭川の桜並木などが位置し、美祢市全域に観光資源が豊富に立地しています。

■美祢市の地域資源



(3) 財政状況

実質公債費比率及び将来負担比率は、平成 19 年度から改善しているが、県平均を上回っており、県内 10 万人未満の市の中では高い状況。

美祢市の財政状況について、平成 19 年 6 月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「健全化判断比率」及び公営企業ごとの「資金不足比率」を見ると、平成 20 年度の健全化判断比率は、全ての比率において健全化判断の基準である早期健全化基準を下回るものの、「実質公債費比率」は 17.3%（早期健全化基準 25.0%）、また「将来負担比率」は 149.7%（早期健全化基準 350.0%）であり、県内 10 万人未満の市の中では高い状況にあります。これらの比率が上昇すると財政の硬直化が進むことになります。

公営企業ごとの「資金不足比率」は、平成 20 年度の観光事業特別会計（秋芳洞、大正洞、景清洞、リフレッシュパーク、養鱒場など）において 169.5%となり、前年度よりも改善しているものの、経営健全化基準の 20.0%を大きく上回っている状況です。このため、平成 21 年度中に経営健全化計画を策定し、観光事業特別会計の経営健全化に取り組むこととしています。

■健全化判断比率の山口県人口 10 万人未満都市との比較(平成 19・20 年度決算) (単位：%)

自治体名	実質赤字比率		連結実質赤字比率		実質公債費比率		将来負担比率	
	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20
美祢市	—	—	—	—	18.4	17.3	169.8	149.7
萩市	—	—	—	—	15.6	15.0	104.6	85.7
下松市	—	—	—	—	9.8	8.0	8.4	—
光市	—	—	—	—	16.6	16.1	90.7	86.9
長門市	—	—	—	—	14.5	15.4	165.1	160.5
柳井市	—	—	—	—	16.7	17.3	130.8	138.5
山陽小野田市	—	—	1.39	—	19.8	18.2	172.5	173.3
山口県平均(加重)					14.4	13.8	120.0	108.3
判断基準								
早期健全化基準	13.29	13.25	18.29	18.25	25.0	25.0	350.0	350.0
財政再生基準	20.0	20.0	40.0	40.0	35.0	35.0		

※1 実質赤字額、連結実質赤字額がないため「—」で表示しています。

※2 実質赤字比率、連結実質赤字比率における早期健全化基準は美祢市の数値です。

■資金不足比率(平成 19・20 年度決算) (単位：%)

自治体名	水道事業会計		病院等事業会計		公共下水道事業会計		観光事業特別会計		農業集落排水事業特別会計		簡易水道事業特別会計	
	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20
美祢市	—	—	—	—	—	—	214.2	169.5	—	—	—	—
判断基準												
経営健全化基準	20.0											

※資金不足がない場合は、「—」で表示しています。

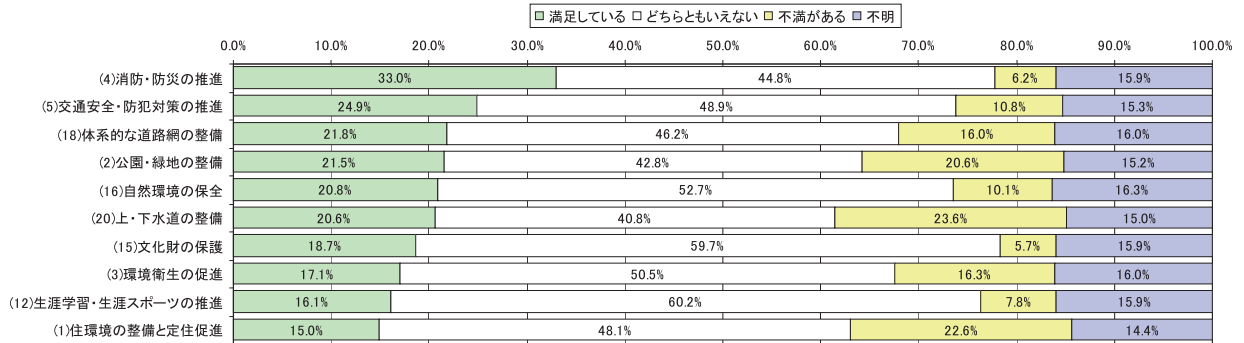
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の標準財政規模(地方自治体の標準的な一般財源の規模)に対する比率
連結実質赤字比率	全ての会計の実質赤字(資金不足額)の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	公債費(借入金の元利償還金)及び公債費に準じた経費の比重を示す比率の3ヶ年平均。実質公債費比率が18%以上になると、地方債許可団体に移行します。また、25%以上になると、地方債の発行が制限されます。
将来負担比率	地方債(借入金)残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

4. 市民の意識

(1) 施策の満足度・重要度

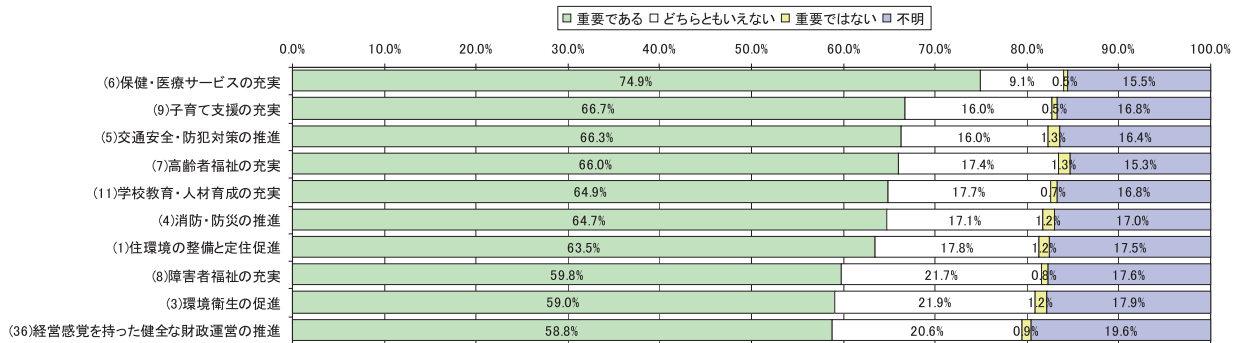
「消防・防災の推進」、「交通安全・防犯対策の推進」、「体系的な道路網の整備」などに対する満足度が高い。

主要施策の満足度の上位は下図のとおりで、「消防・防災の推進」、「交通安全・防犯対策の推進」、「体系的な道路網の整備」などが上位となっています。



「保健・医療サービスの充実」、「子育て支援の充実」、「交通安全・防犯対策の推進」などに対する重要度が高い。

主要施策の重要度の上位は下図のとおりで、「保健・医療サービスの充実」、「子育て支援の充実」、「交通安全・防犯対策の推進」などが上位となっています。



子育て支援を含めた「保健・医療、福祉の充実」、「公共交通の充実」、「行財政運営の効率化」、「産業の創出による、雇用拡大と地域経済の発展」といった事柄が、まちづくりの大きな課題といえる。

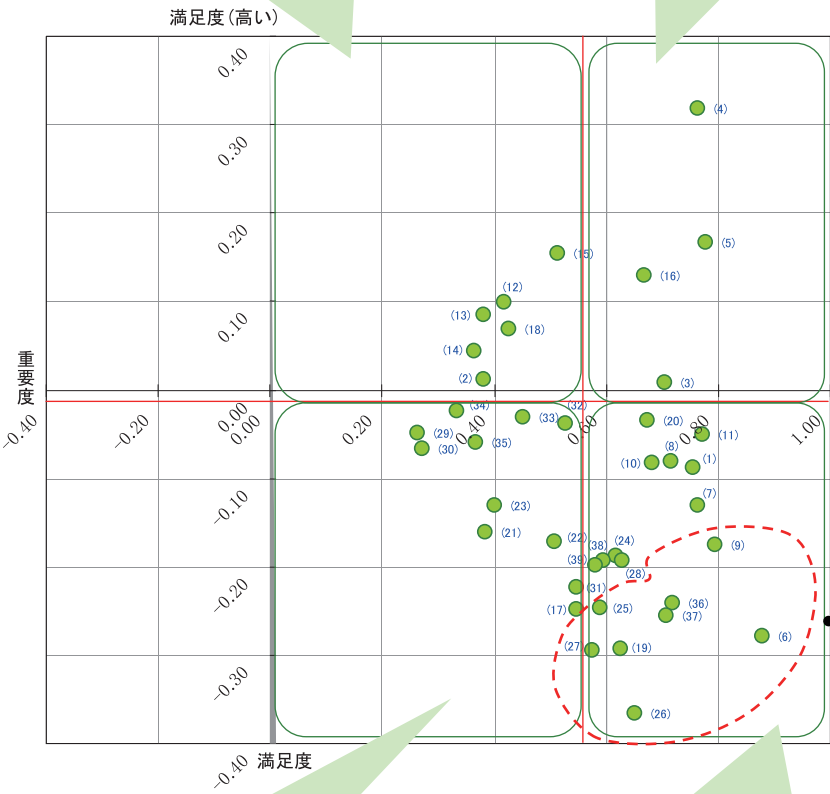
主要施策の満足度と重要度の相関関係を見ると、「保健・医療サービスの充実」、「企業誘致の推進」、「経営感覚をもった健全な財政運営の推進」、「効率的できめ細かな行政サービスの推進」、「公共交通の充実」、「新産業の創出や地域ブランド開発の推進」、「子育て支援の充実」、「商工業の振興」などにおいて、満足度が低く、重要度が高くなっています。

このことは、子育て支援を含めた「保健・医療、福祉の充実」、「公共交通の充実」、「行財政運営の効率化」、「産業の創出による、雇用拡大と地域経済の発展」といった事柄が、まちづくりの大きな課題となっているものと考えられます。

■満足度と重要度の相関関係

満足度が高く、重要度は低い
 社会的意義や法律的な義務付けなどへの配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性のある施策。

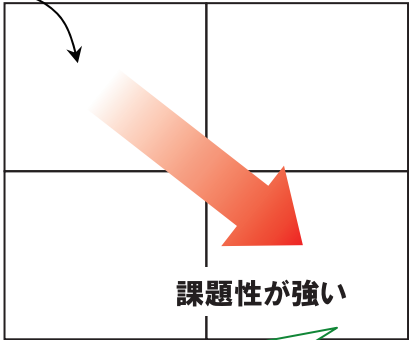
満足度が高く、重要度も高い
 満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性のある施策。



	重要度	満足度
(1)住環境の整備と定住促進	0.75	-0.09
(2)公園・緑地の整備	0.38	0.01
(3)環境衛生の促進	0.70	0.01
(4)消防・防災の推進	0.76	0.32
(5)交通安全・防犯対策の推進	0.78	0.17
(6)保健・医療サービスの充実	0.88	-0.28
(7)高齢者福祉の充実	0.76	-0.13
(8)障害者福祉の充実	0.72	-0.08
(9)子育て支援の充実	0.79	-0.17
(10)地域福祉の充実	0.68	-0.08
(11)学校教育・人材育成の充実	0.77	-0.05
(12)生涯学習・生涯スポーツの推進	0.42	0.10
(13)人権教育・啓発活動の推進	0.38	0.08
(14)芸術・文化の振興	0.36	0.04
(15)文化財の保護	0.51	0.15
(16)自然環境の保全	0.67	0.13
(17)計画的な土地利用の推進	0.55	-0.25
(18)体系的な道路網の整備	0.43	0.07
(19)公共交通の充実	0.63	-0.29
(20)上・下水道の整備	0.68	-0.04
(21)都市機能の整備	0.38	-0.16
(22)情報・通信分野の整備	0.51	-0.17
(23)循環型社会をめざしたシステムの構築	0.40	-0.13
(24)農林業の振興	0.62	-0.19
(25)商工業の振興	0.59	-0.25
(26)企業誘致の推進	0.65	-0.37
(27)新産業の創出や地域ブランド開発の推進	0.58	-0.30
(28)観光の振興	0.63	-0.19
(29)ツーリズムの推進	0.26	-0.05
(30)地域間交流・国際交流の推進	0.27	-0.07
(31)観光サービス産業の育成	0.55	-0.22
(32)市民参加型まちづくりの推進	0.53	-0.04
(33)地域住民活動支援の推進	0.45	-0.03
(34)男女共同参画社会の実現	0.33	-0.02
(35)まちづくり条例等の検討	0.37	-0.06
(36)経営感覚を持った健全な財政運営の推進	0.72	-0.24
(37)効率的できめ細かな行政サービスの推進	0.71	-0.26
(38)ニーズに合う弾力的な機構改革の推進	0.60	-0.19
(39)行政サービスにおける民間活力の導入の推進	0.58	-0.20
平均値	0.57	-0.09

満足度も重要度も低い
 重要度(住民の期待)が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性のある施策。

満足度が低く、重要度が高い
 住民の期待に対して十分対応できていない施策であることから、住民満足度を向上するために最も優先して取り組まなければならない可能性のある施策。



- (6)保健・医療サービスの充実 (9)子育て支援の充実 (19)公共交通の充実 (25)商工業の振興
 (26)企業誘致の推進 (27)新産業の創出や地域ブランド開発の推進
 (36)経営感覚をもった健全な財政運営の推進 (37)効率的できめ細かな行政サービスの推進

(2) 美祢市への愛着、今後の居留意向

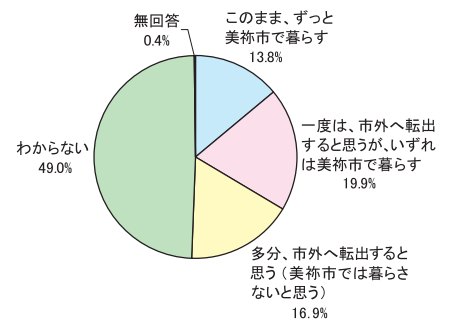
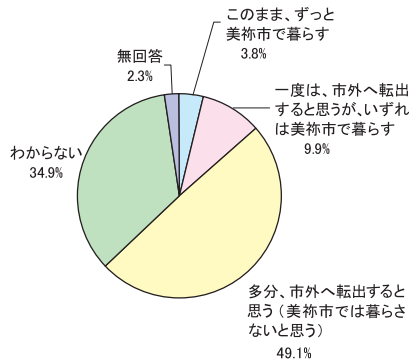
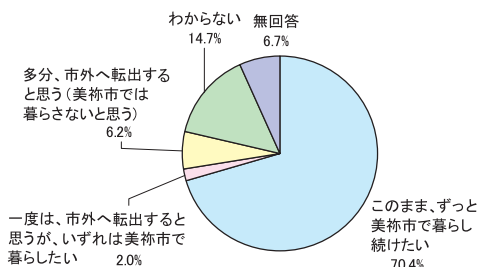
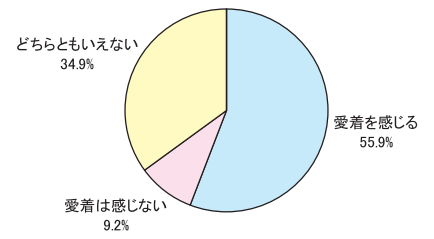
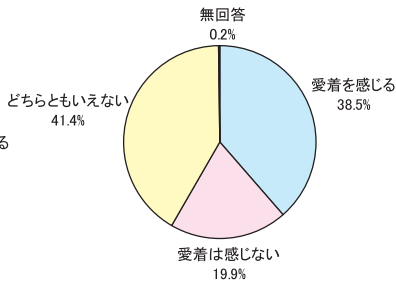
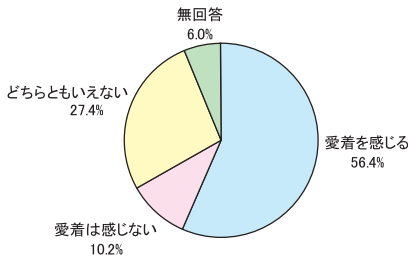
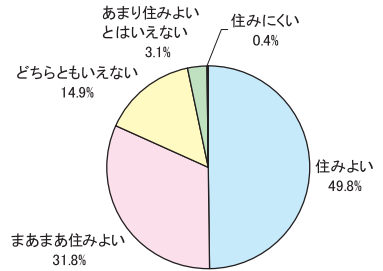
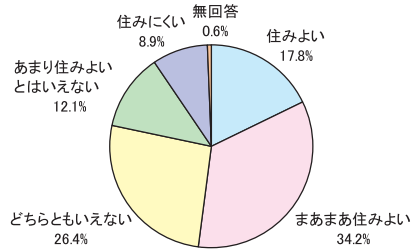
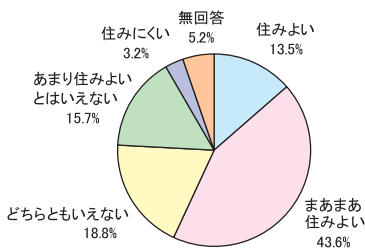
美祢市を住みよいと感じている市民が 57.1%、美祢市に愛着を感じている市民が 56.4%。このままずっと美祢市で暮らし続けたいと思っている市民が 70.4%。

住みよい（「住みよい」及び「まあまあ住みよい」、以下同じ）と感じている方が 57.1%、愛着を感じている方が 56.4%と多く、今後も暮らし続けたいと思う方は 70.4%に達しています。小学生では、住みよいと感じている児童が 81.6%に達し、愛着を感じている児童が 55.9%、今後も暮らし続けたいと思う児童は 13.8%となっているが、中学生・高校生では、住みよいと感じている生徒が 52.0%、愛着を感じている生徒が 38.5%、今後も暮らし続けたいと思う生徒は 3.8%にとどまっています。

【市民】

【中学生・高校生】

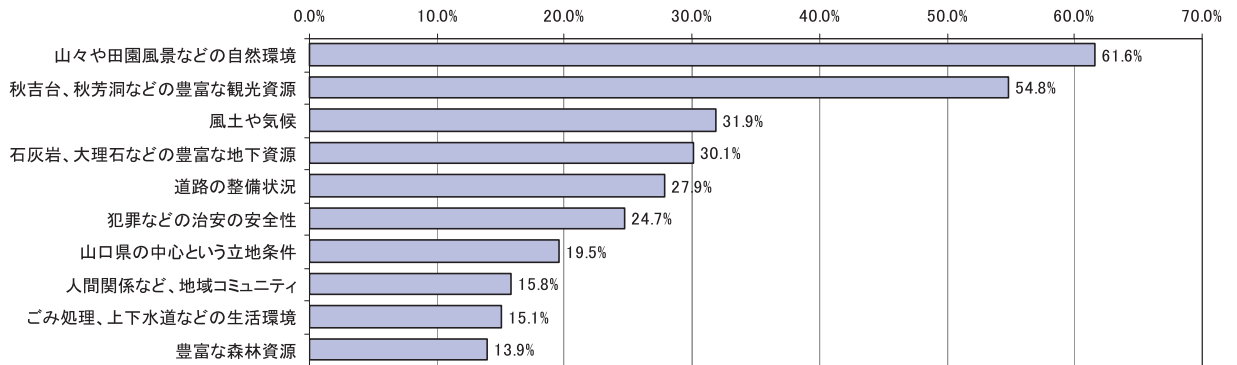
【小学生】



(3) 美祢市の自慢できるところ、不満なところ

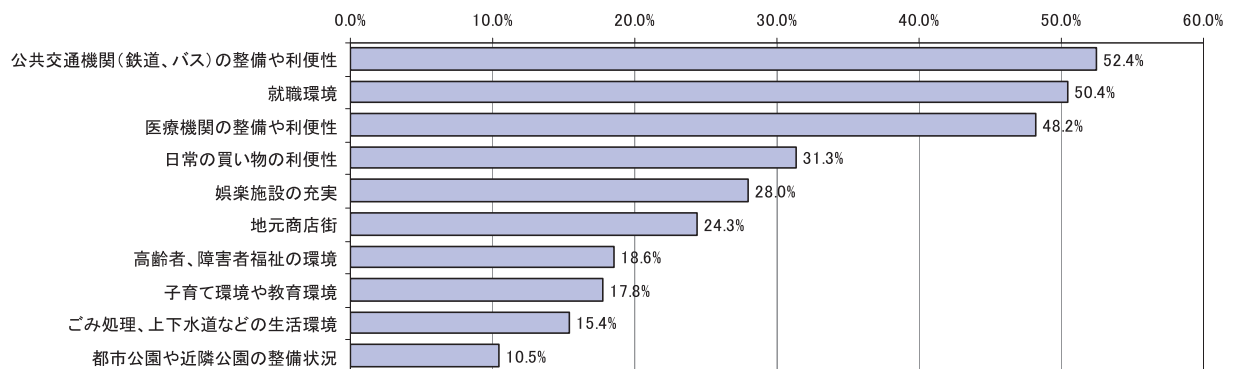
「山々や田園風景などの自然環境」や「秋吉台、秋芳洞などの豊富な観光資源」、「風土や気候」などについて、美祢市の自慢できるところと感じている。

美祢市で自慢できるものとして、「山々や田園風景などの自然環境」や「秋吉台、秋芳洞などの豊富な観光資源」、「風土や気候」などが上位となっています。



「公共交通機関(鉄道、バス)の整備や利便性」、「就職環境」、「医療機関の整備や利便性」などについて、美祢市の不満なところと感じている。

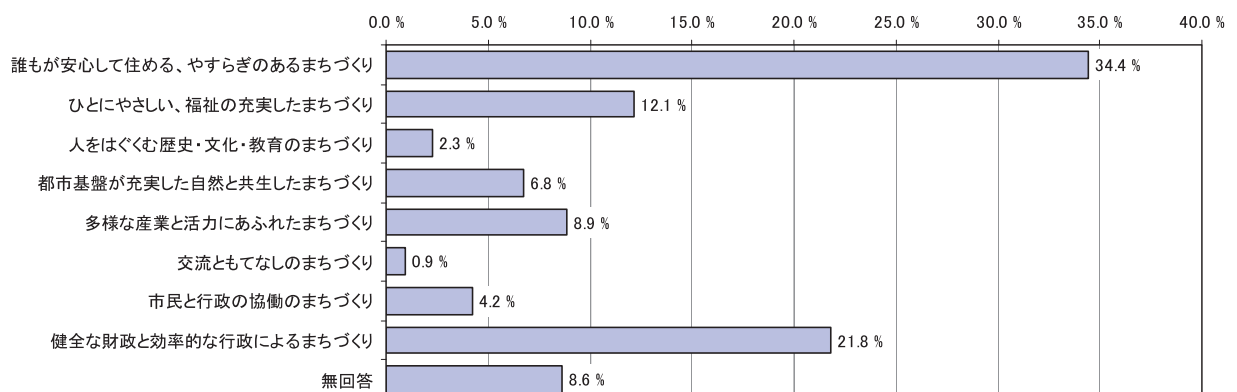
美祢市の不満な点として、「公共交通機関(鉄道、バス)の整備や利便性」、「就職環境」、「医療機関の整備や利便性」などが上位となっています。



(4) 今後、重要だと考えるまちづくり

美祢市で重要と考えるまちづくりは「誰もが安心して住める、やすらぎのあるまちづくり」、「健全な財政と効率的な行政によるまちづくり」。

今後の美祢市で重要だと考えるまちづくりは、「誰もが安心して住める、やすらぎのあるまちづくり」が最も多く、次いで「健全な財政と効率的な行政によるまちづくり」、「ひとにやさしい、福祉の充実したまちづくり」となっています。

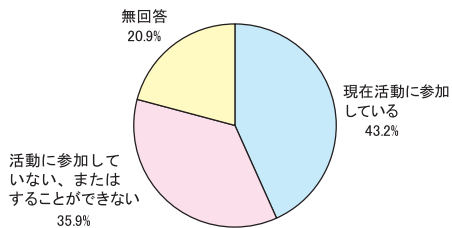


(5) 市民活動への参加状況

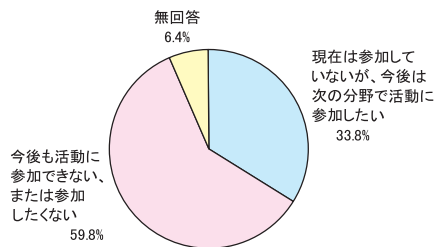
活動に参加している方が43.2%、今後参加したいと考えている方が33.8%。

現在、市民活動に参加している方は43.2%で、その主な内容は自治会活動、まちの美化・緑化活動となっています。現在、活動していない方で、今後は活動したいと考えている方が33.8%見られます。

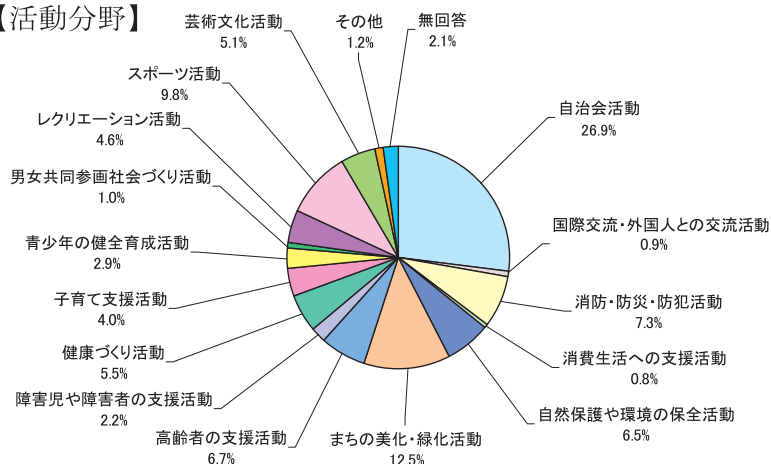
【活動状況】



【今後の意向】



【活動分野】



5. まちづくりの主要課題

(1) 観光交流の更なる振興

美祢市の観光客は、MINEサーキットの閉鎖などから、減少傾向にありましたが、市民等意識調査結果で自慢できる場所としてあげられているように、豊富な自然環境や、観光資源が多く、エコツアーの実施などにより秋吉台・秋芳洞では、観光客が増加傾向にあります。

また、農山村などを舞台とした体験交流のニーズも高まりを見せていることから、農業などとの観光の連携も重要となっています。

このように、多くの観光資源を有している美祢市にとって、観光産業は地域の活性化につながる大きな要素として重要であると考えられることから、観光事業の財政事情は厳しい状況にありますが、今後の更なる観光振興施策の展開が望まれます。

(2) 地域資源を活かした、新しい産業（雇用）の創出

自然資源、地下資源に恵まれた美祢市は、山口県西部のほぼ中央に位置し、交通利便性の非常に高い場所に立地していますが、市民等意識調査結果に見られるように、就業環境への満足度の低さは、市外への転出の要因になっていると考えられます。

そのため、地域資源を有効に活用した、新たな雇用につながる産業の創出が望まれます。

(3) 保健・医療、福祉体制の充実

2つの市立病院が立地しているにも関わらず、保健・医療サービスに対する満足度は低く、今後の取り組みとしても、保健・医療サービスの重要度が一番高くなっています。

少子化、高齢化が進行する中で、安心して暮らすことができるよう、保健・医療、福祉体制の充実や子育て環境の整備が望まれます。

(4) 公共交通など交通環境の整備

中国自動車道で分岐し萩市へ至る地域高規格道路「小郡萩道路」の整備が進められるなど、高速交通網の利便性が高いばかりか、山口市、下関市、宇部市などの主要都市に接するという立地条件を兼ね備えており、居住地としての高いポテンシャルを有しています。

しかしながら、公共交通への満足度は低いため、美祢市への定住を促進するためにも、生活基盤としての公共交通などの交通環境の整備が強く望まれます。

(5) 少子化対策、定住対策の充実

人口減少社会の中で、小学生は美祢市への強い愛着をもっているものの、中学生や高校生は美祢市に住み続けたいという学生が少ないことから、今後の、更なる人口減少や少子化を招く恐れがあります。

そのため、子育て支援策の充実、安心して子育てできる環境の整備、教育環境の充実など、少子化対策、定住対策への積極的な取り組みが望まれます。

(6) 基幹産業である農林業の振興

中山間地域の美祢市では、農林業が基幹産業の一つとして位置付けられますが、不安定な収入や、従事者の高齢化に加え、若者の流出による担い手不足など、様々な問題点を抱えています。

農業においては、外国からの食品輸入が拡大し、国内の食糧自給率も 40%にとどまる中で、輸入食品における事故などから、安全な食を求める声が高まっています。

一方、林業においては、地球温暖化対策の観点から、森林のもつ機能が見直される中で、維持管理のされない森林の増加による森林機能の低下が懸念されています。

このため、美祢市の農業や林業においても、経営規模の拡大や生産性の向上を図り、担い手を確保する取り組みが望まれます。

(7) 商業の活性化

日常の買い物は、居住している地域の中心部で行っている方が多く見られる一方で、日常生活の便を理由に、市外へ転居することを考えている学生が多く見られます。

そのため、定住の促進と、市民の日常生活を支えるためにも、商業の充実化の取り組みが望まれます。

(8) 効率的な行財政運営の推進

美祢市の財政事情を表す健全化判断比率においては、実質公債費比率、将来負担比率が早期健全化基準は下回るものの、県平均を上回っており、県内の 10 万人未満の市の中では高い状況です。また、地域経済発展の鍵を握る観光分野においても、観光事業特別会計の資金不足比率が経営健全化基準を大幅に上回っており、早期の効率的な行財政運営の実現が望まれます。

(9) 市民活動の活性化、人材育成の推進

これからのまちづくりには、効率的な行財政運営の推進のもとで、地域住民の創意工夫による、市民と行政の協働の取り組みが不可欠です。

市民意識調査結果を見ると、約4割の市民が自治会活動などに参加しており、今は参加していない方のうち約3割は、今後は活動したいとしており、地域活動への参加意欲はあるものといえます。

そのため、様々な市民活動の活性化や、協働のまちづくりの担い手となる人材の育成が望まれます。